

県青協バーベキュー交流会

全国業者青年交流会
9/26.27 7企画

8月29日(土)、県青協主催のバーベキュー交流会を開き、県内各民商青年部から9名が出席しました。前回2年前と同様に、全国業者青年交流会(広島市、9月25・26日)のプレイベントとしての開催でしたが、周りに参加を呼び掛けつつ、「収穫の合間に顔出します。」「雨で現場が休みになったのですぐさま向かいます！」など皆それぞれ時間を工面してなんとか駆けつけ、青年部員以外にも県連役員、業者青年交流会参加経験者など多彩な顔ぶれが集まりました。

國分議長(県青協・須賀川民商)のあいさつの後は、県連の二宮会長から激励の言葉をいただき、白河青年部役員の河島弘幸さん(泉崎支部)の音頭のもと乾杯して、おいしいお肉とおしゃべりを楽しみました。自己紹介では、業者交流会参加予定の宗像さん(須賀川民商)が全国商工新聞で取り上げられた記事をもとにあらためて参加の意気込みを語ってくださり、以前の交流会参加者も、「また青年部とつながりができてよかった」と話していました。

二宮会長の感想

県内青年部の交流会には、県連として、また白河の会長として全部に参加してきました。学ぶ・遊ぶ・楽しむ行事を楽しみにしています。若い業者の想いは、私の青年の頃とあまり変わらないという感じで、青年の行動力と発想に期待したいと思います。集まればいろんな話がポンポンと飛び交います。仕事の話のみならず、趣味の話や過去の民商活動の話など、楽しい交流会になったと感じましたし、全国業者青年交流会のステップになったと思います。



東支部役員会

8月31日(月)田崎自動車整備工場にて6人の役員が参加して役員会を開催しました。13日の班長支部長学習会には5人の参加者を決め、また11月のグランドゴルフ大会には2チームで参加しようと決めました。

秋の運動がスタート

9月1日から11月いっぱい「秋の運動」拡大月間と位置づけ、毎月拡大会員1%、商工新聞読者2%、新署名5人を目標に取り組むよう全商連57回総会第1回理事会で方針が出されました。白河民商でも方針を堅持しながら三役会では進めていくことを決め常任理事会(9月28日開催)で訴えていこうと話されました。

9月17日には、毎月行動の「拡大統一行動」を行います。宣伝カーの運行だけでは広まらないため、班会の計画をしてもらうため、会員・役員の訪問をしよう」と話し合われました。また、全商連理事会を受け、物価高騰アンケートや署名(消費税新署名1会員5名)を集めきるためには「新聞でおろしただけでは不十分。班会で話をしながら記入してもらわなければ集めきれない。班会を開けるよう努力していかねばいけない」と常任理事会で支部役員に訴えること確認しました。

8.30 ふくしま集会

全国から1,500人が集まり原発ゼロと住民本位の復興を求め集会を開きました。白河民商からは白5支部小島支部長が参加しました。

小島支部長は被害者のアピールを聞いて「原発をなくす・作らせない運動をもっと頑張らないといけない」と話していました。

矢吹西支部役員会

8月31日(月)に大伸工業そば屋にて矢吹西支部役員会を開き、6名が出席しました。会費の未収状況を確認し、6月の合同班会の報告を聞いて、震災・水害に支部で義援金を出すこととしました。13日(日)の班長支部長学習会・消費税学習会の参加者を決めた後は、商工新聞を見ながら消費税や最近の税務署の対応や動向について学習しました。

支部だより



相談をご希望の方は事務所まで申し込みください

9月10日(木)午後4時

9月の無料法律相談・なんでも相談会